



世界糖尿病デー



11月14日の世界糖尿病デーに合わせて11月に約1か月間、糖尿病に関するポスター掲示を外来ホールで行いました。今年は糖尿病デーに関する内容のほか9月の健康フェスタで医師・管理栄養士・看護師からお話させていただいた骨粗しょう症予防についてご紹介させていただきました。これからも食事・運動・くすりなど生活全般にかかわるセルフケアに日々取り組む糖尿病患者さんをチーム全体でサポートしていきますのでお気軽にご相談ください。

(糖尿病チーム 糖尿病専門医 荒木 里香)
(糖尿病看護認定看護師 渡邊 美佳)

糖尿病ワンポイントアドバイス No.6

～「肥満症」の治療～

肥満は、脂肪組織に脂肪が過剰に蓄積し、体格指数[body mass index: BMI、体重(kg)/身長(m)/身長(m)]が25kg/m²以上の状態で、「肥満症」は、*肥満に関連する健康障害を合併するか内臓脂肪蓄積があり、医学的に減量を必要とする疾患です。現体重の3%以上の減量によって複数の健康障害が改善すると言われていいますので、3%以上の減量目標を設定します。BMIが35kg/m²以上の「高度肥満症」は5～10%を減量目標とします。食事・運動・行動療法を行っても減量目標が未達成の場合、肥満症治療食の強化や薬物療法、外科療法の導入が考慮されます。

肥満症治療剤『ウゴービ』が、2024年2月22日から保険適応となりました。2型糖尿病治療に使用されているセマグルチドという成分を含む週1回皮下注射剤で、脳の満腹中枢に働きかけて食欲を抑制し、胃の蠕動運動を抑えて満腹感を出すことにより、減量効果が期待されます。肥満症治療以外

の目的(美容・瘦身など)では使用できません。高血圧、脂質異常症または2型糖尿病いずれかに対する薬物療法を受けており、食事・運動療法を6か月以上行っても以下のいずれかを満たす場合に使用できます。

- BMIが27kg/m²以上であり、2つ以上の*肥満に関連する健康障害がある
- BMIが 35kg/m²以上

処方できるのは、特定の医療機関に限られます。かかりつけ医から「肥満症」で減量を勧められている方は、当院〈糖尿病・内分泌内科〉窓口へご相談ください。

* 肥満に関連する健康障害：耐糖能障害(2型糖尿病・耐糖能異常など)、脂質異常症、高血圧、高尿酸血症・痛風、冠動脈疾患、脳梗塞・一過性脳虚血発作、非アルコール性脂肪性肝疾患、月経異常・女性不妊、閉塞性睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群、運動器疾患(変形性関節症：膝関節・股関節・手指関節、変形性脊椎症)、肥満関連腎臓病

(糖尿病・内分泌内科 荒木 里香)



今回の作品は「十二支のちぎり絵・色ぬり」です。患者さんの生まれた年のそれぞれの干支を、ちぎり絵や色ぬりで表現しました。

新年一発目にふさわしい素敵な作品ができあがったと思います。是非やまばとギャラリーでご覧ください！ (児童指導員 森 日奈子)

